



あつかしやまぼろい しもふたえぼり  
阿津賀志山防塁 (下二重堀地区)

阿津賀志山防塁は、文治5年(1189年)に奥州藤原氏が源頼朝を迎え撃つため、阿津賀志山の中腹から3.2kmにわたって築いた要塞です。その中でも、この下二重堀地区は、2本の堀と3本の土塁の遺構が良くわかり、町の歴史を散策する町内外の方々に親しまれています。

町では、このたからものをより多くの方々に知ってもらうため、防塁の復元や歴史公園としての整備を行います。現在は、整備に必要となる情報を得るため、防塁の発掘調査を進めています。今号の「歴まちさんぽ」(P13)では、その様子についてお伝えします。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】

目次

2 目次

3 桃、はじめました

4 沢木順コンサート、道の駅来場者50万人達成

5 国見ジュニア応援団

6 交通安全標語コンクール、県境キャンペーン

7 町長要望活動、災害対策功労者表彰

8 第22回義経まつり、クニズ・バーをオープン

9 フォトコンテスト受賞者決定、旬な協力隊

10 モリー先生&シエシカ先生のメッセージ

11 笑顔のひろば、小さな天才たち

12 農業委員会新体制、鳥獣被害対策連絡協議会

13 歴まちさんぽ

14 まちのわだい

16 保健だより

18 暮らしの情報

22 生涯学習つうしん

24 カレンダー

～今月の表紙～



国見小学校では7月25日、シドニーオリンピック女子100m背泳ぎ銀メダリストの中村真衣さんによる水泳教室が開催されました。参加した児童は、中村さんに「正しい泳ぎ方」を教わると早速実践。中村さんの熱心な指導により、見る見るうちに上達した児童たちは手応えを感じた様子。夏休みの貴重な体験となりました。

今年も 桃、はじめました。

くにみの 日本一おいしい



7月に入り、国見町では特産のモモの出荷が始まりました。国見町は県内で日照時間が一番長く、太陽の恵みが国見のモモを甘く、おいしく育てます。そんな国見自慢のモモを、今年も全国各地でPRします。



ミデッテで国見のモモをPRする太田町長

**太** 田久雄国見町長は7月5日、東京都内にある日本橋ふくしま館ミデッテで、今シーズン初となる国見町産モモのトップセールスを行いました。トップセールスには太田町長や町産業振興課職員、ミスピーチ、国見応援隊、「くにみもたん」らが参加し、国見町産モモをPRしました。今回用意したモモは早生種の「はつひめ」。肉質滑らかでジューシー、この時期としては糖度が高いのが特徴で、試食した来場者からは「甘くてみずみずしくておいしい」と大好評。あつという間に完売となりました。

また、町では7月9日、道の駅国見あつかしの郷と東北自動車道国見サービスエリア上り線でも国見町産モモ「はつひめ」のPRを行いました。

太田町長をはじめ、渋谷憲道さん、黒田壤さん、阿部郁さんら生産者のみなさん、ミスピーチや「くにみもたん」が参加。道の駅での販売に先立ち行われたセレモニーでは、太田町長が「日本一おいしい国見のモモをお届けします」とPR。販売開始と同時にモモを買い求める人の長蛇の列ができ、改めて「国見のモモ」のブランド力の高さが窺えました。



道の駅でモモを買い求める来場者